

「フラットな会」の概要

代表者名：神戸正博（神戸医院院長）

団体名： フラットな会

会員メンバー：

神戸正博（神戸医院院長）・前澤毅（前澤病院院長）・池上正資（とうせい歯科医院院長）・増澤良雄（福祉を考える企業の会）・中村英治（フラワーハイツ老健作業療法士・くるみ施術院）・伊藤園子（昭和伊南総合病院緩和ケア認定看護師）・前田吉彦（上穂みなみ薬局薬剤師）・北澤愛（千寿園主任介護支援専門員）・松沢澄恵（駒ヶ根市役所保健師）・伊藤陽子（駒ヶ根市社会福祉協議会）・倉田高志（日報報道部部長）・中山教保（プラムの里居宅介護支援事業所主任ケアマネ）

活動内容：・地域包括ケアシステムの一躍をどう担えるかを題材にした話し合い
・ワールドカフェ方式での懇談会 研修会 グループワーク パネルディスカッション
・企業から見た今後の福祉を共に考える話し合いと活動

沿革と歴史：

H26年に駒ヶ根市在宅医療シンポジウムが開催され、以後毎年行政と医療従事者・介護・福祉関係者による多職種事例検討会が行われてきた。その繋がりから行政主導ではなく専門職・異業種自らが「顔の見える関係づくり」を目指して「フラットな会」が発足した（H29年5月22日）。

研修事業：「暮らしを支える仲間と連携を語り合う会」を開催

主旨：

当地域は多職種連携が活発に行われており、県内の市町村からも注目をされている。これは各業種の枠を超え、頻回に事例検討を重ね実際に顔を突き合わせて患者さん・利用者さんを中心に考えている事に他ならない。目の前の利用者さんの為、働く自分達の為、そして将来の自分達の為に、行政や自身の所属する団体等の枠は取り払い、本音で語り合う。そうしたことで、更に気持ちがつながる多職種の関係を目指している。

理念：「多職種連携で繋がる地域づくり・業種の枠を超えたコラボレーション」